舞鶴小学校 学校だより	友の手を引く	２０１９年度 ２ 月 ２５ 日 文 責 校長　渡邉　豪

※学校だよりのタイトル『友の手を引く』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。

予告無し避難訓練を実施しました

１月３０日に今年度初めての「予告無し避難訓練」を実施しました。子どもたちには避難訓練を行うことは一切知らせず、地震を想定した訓練を行いました。業間の休み時間になって５分後に、「訓練、訓練、訓練を行います。ただ今、大きな地震が発生しました。児童の皆さんは、自分の身を守る行動をしてください。」という放送を流し、３分後に「揺れがおさまりました。児童の皆さんは，校庭に避難してください。」という指示を出しました。これまで、授業中に地震や火災が発生した場合については、予告したうえでの避難訓練を繰り返し実施しており、子どもたちは、静かにそして整然と避難することができました。しかし、今回は予告無しで、なおかつ業間の休み時間の訓練なので、担任がいない場所にいる子どもたちの方が多い状態であり、その状況での子どもたちの対応状況を確認するねらいがありました。

この「予告無し避難訓練」を実施するにあたり、事前指導を各クラスで繰り返し行ってきました。場所に関しては、廊下、階段、昇降口、中庭、体育館、校庭、トイレなどにいるときに地震が発生したらどう行動すれば良いのかを指導し、状況に関しては、近くに教師がいる場合と児童だけの時、さらに、自分一人しかいない場合について、その瞬間に適切な判断と行動ができるように、指導を繰り返し行いました。このような訓練の実施が、実際に地震や火災が発生したときに、自分の命を守るための適切な判断力と行動力を身に付けることにつながります。私は、できるだけ多くの子どもたちの行動の様子を確認するために、階段、昇降口、校庭等がよく見える場所を移動しながら、子どもたちの行動を確認しました。校庭で遊んでいた子どもたちは、放送を聞くとグランドの中央に整然と集まり座りました。とても素晴らしい対処です。昇降口付近にいた子どもたちは、まわりを見て落ちてくる物や倒れてくる物が無いことを確認して、姿勢を低くして揺れが収まるのを待ちました。これも素晴らしい対処でした。その後の避難指示が出ると、慌てること無く静かに落ち着いて校庭に避難しました。

校内にいた職員の話でも、子どもたちはとても落ち着いて、適切に対処していたとのことでした。今後も地震や火災、不審者対応への訓練を続けながら、一人でも適切な判断と行動ができる力を身に付けさせ、【自分の命は、自分で守る】を合言葉に、学校として取り組んでいきます。

穴切神社節分地域交流学校訪問が行われました

２月３日の節分の日に、穴切神社節分地域交流学校訪問を行いました。穴切神社の宮司さんである秋山様に学校にお越しいただき、TV 放送で節分のについてわかりやすく説明していただきました。日本の伝統的な風習について、子どもたちの理解が深まることをねらいにして実施している行事ですので、宮司さんのお話は、分かりやすく子どもたちの学びが深まったと思います。

続いて、穴切地区節分保存会、相生地区青少年育成協議会の方々１０名が扮する鬼、福の神、福男が、教室を順番に巡りました。鬼に豆を投げつける子、悲鳴をあげながら逃げ惑う子など反応は様々でしたが、日本の伝統的な風習を体験を通して学ぶことができました。お忙しい中来校していただいた皆様に心から感謝申し上げます。

第3回地域連携あいさつ運動行いました

今年度３回目の「地域連携あいさつ運動」を行いました。本校職員と地域や保護者の皆様と共に取り組みました。西中学区三校（舞鶴小，池田小，西中）の連携事業としての位置づけでもあります。各学期４日ずつ実施してきました。時間は７：４５～８：１０で，集合場所及び実施場所は舞鶴小学校児童玄関前です。

保護者の方には、学校から通知で参加を募り、地域の方には自治会の回覧板で周知しながら参加のお願いをしています。回を重ねる毎に、「地域連携あいさつ運動」にご参加くださる地域や保護者の方が増え、本校のあいさつ運動の取り組みがさらに定着し、あいさつが子どもたちにとって当たり前のものになるように、今後も取り組みを続けていきたいと考えています。この活動を通して、学校と家庭・地域の連携した活動というのは、非常に大切だと改めて感じています。

青雲会文庫の紹介します

この度、昭和１６年度春日小学校卒業生同窓会の「青雲会」の会員のご親族の方から、「青雲会」会費の残金を舞鶴小学校に寄付したいという申し出をいただきました。甲府市への手続きが完了したので、この貴重なご寄付を児童のために役立てる方法として図書購入に使うこととしました。購入した図書は、図書館に「青雲会文庫」として整備しました。今後、子どもたちの読書活動や学習活動に活用させていただきます。「青雲会」関係者の皆様には、心より感謝申し上げるとともに、ここにご披露させていただきます。